

茂木高校に関する Q & A (令和6年度版)

【茂木高校について】

1 「茂木高校」ってどんな学校ですか。

男女共学の進学型総合学科の高校です。総合学科は芳賀地区で唯一です。創立 103 年を誇る県下有数の伝統校でもあります。

2 クラスは何クラスありますか。

各学年 4 クラス、合計 12 クラスです。

3 先生の数はどのくらいですか。

常勤の教員が 41 名、事務職員、非常勤の教員を加えると 58 名です。同規模の普通科高校に比べて 1.3 倍の先生が配置されています。

先生の数が多いので、少人数の授業がたくさん行われています。なかには2・3人で行われている授業もあります。

4 どの中学校の出身の生徒が多いですか。

1 位：茂木中、2 位：益子中、3 位：市貝中です。

以前から茂木中からは毎年 30 名以上の生徒が入学し、芳賀郡全域、真岡市からもたくさん来ています。また、県内の烏山や茨城県から通学する生徒がいることも、昔から茂木高校の特徴です。

5 学年全体での男女の割合はどの位ですか。

男子が 213 名、女子が 220 名ですから、ほぼ同じ割合です。

6 クラスの分け方はどうするのですか。

2 年生からは科目選択や進路希望に応じてクラス編成をします。

7 一日の学校生活はどういう時間割ですか。

8 時 35 分始業で、45 分 7 時間授業（16 時 00 分まで）、水のみ 6 時間授業（15 時 05 分まで）です。

8 定員割れしていますが大丈夫ですか。

小規模校による特例対象校になっておりますが、すぐに募集を停止するわけではないので大丈夫です。今年の 1 年生は入学定員 160 名のところ 125 名の入学でしたが、各クラス 31 名（1 クラスは 32 名）のため、クラスメイトとすぐ仲良くなれ、先生方からは細かい点まで目を掛けてもらえ、面談などの時間が十分に確保されています。

地元茂木町と協力し、魅力ある学校づくりを目指して日々進化し続けています。

【総合学科について】

1 総合学科ではどんな勉強をしますか。

普通科の高校で学ぶ科目に加えて、興味や進路希望に応じて、専門的な科目を勉強することができます。

1 年生の時は、ほぼ普通科の高校と同じ授業です。2・3 年生になると自分の希望に合わせて、色々な科目を選択できるようになります。

2 総合学科と普通科とはどう違うのですか。

総合学科では、一人ひとりの個性や進路希望に応じて普通科よりも科目を幅広く選択することができます。また普通科に比べて先生の数も多く、少人数授業によりきめ細かな指導が受けられます。

科目を選ぶのは大変なようですが、「産業社会と人間」という、進路について考える授業もありますし、それぞれの進路希望などに応じて先生がアドバイスをしてくれますので、そんなに心配はいりません。

3 卒業後の進路先はどんなところですか。

茂木高校は進学型総合学科ですから、4年制大学や短期大学、専門学校などへの進学を希望する生徒が多いです。公務員や民間企業に就職する人もいます。

4 茂木高校から国公立の大学には行けますか。

もちろん行けます。昨年度（R5）は16名が、宇都宮大、茨城大、秋田大、山形大、室蘭工業大、鹿児島大などの全国各地の国公立大学に合格しています。昨年度は十数年ぶりに筑波大学に2名も合格しました。学校推薦型選抜や総合型選抜で合格する生徒が多いのが本校の特徴です。

5 就職はできますか。

もちろんできます。例年、公務員（警察、消防、役場等）や県内の民間企業（キャノン・ジェーピーエス製薬等）に10名程度の生徒が就職しています。

6 「系列」って何ですか。

科目選択をわかりやすくするために、内容によって科目をまとめたグループのことを系列といいます。茂木高校には「文理総合」、「数理科学」、「人文国際」、「環境・生活」「情報・文化」の5つの系列があります。

7 授業の時クラスがバラバラになるのですか。

1年生ではクラス単位の授業がほとんどですが、2・3年生では選択科目で分かれる授業が多くなります。

8 課外授業・補習はありますか。

土曜日に希望者に対して土曜講座を行っており、進路実現に必要な力がつきます。夏休みにも課外授業があります。**土曜講座は基本的に希望ですので、部活動やボランティア活動などに力を入れたいので、受けないという人もいます。希望によって自由度は高いと思ってください。**放課後、自主的に学修室という教室に残って自習する生徒や公営塾で勉強する生徒もいます。

9 「産業社会と人間」って何を勉強するのですか。

総合学科の1年生で学ぶ科目で、将来の進路を考えるために、自己を理解し、職業や現在の社会について学び、また2年生からの科目選択のガイダンスをします。週2時間、連続して行われます。

【部活動について】

1 どのくらいの人が部活に入っていますか。

茂木高校には10の運動部と7の文化部があります。約7割～8割の生徒が加入してそれぞれ活発に活動しています。

2 強い部活は何ですか。

柔道部、陸上部、音楽部は毎年のように関東大会に出場しています。陸上部は2年ぶりにインターハイに出場し、美術部は何度も全国高校総文祭に出品（令和6年度で10年連続出場）しています。学校案内パンフレットにもありますが、弓道部、卓球部も関東大会に出場しています。バレーボール部、そして野球部も県内で上位の成績を収めています。

3 部員の多い部活は何ですか。

1位は野球部です。30名以上部員のいる部活は、サッカー部、音楽部、弓道部、調理手芸部があります。部員が少なくなってしまった部もあるので皆さんに期待します。

【茂木高校の生活について】

1 真岡鉄道で通学する人はどのくらいいますか。

約7割の生徒が利用しています。

2 自転車通学の人とはどのくらいいますか。

真岡鉄道の最寄り駅まで自転車を利用する人を含めて、約5割の生徒が通学に自転車を使っています。

3 学校祭はありますか。

学校祭を毎年7月に実施しています。昨年はコロナウイルス感染拡大防止のため、チケット制の限定一般公開としましたが、今年は制限を設けず一般公開とし、たくさんの方が来場し、たいへん盛り上がりました。

4 修学旅行はどうですか。

2年生で修学旅行に行きます。今年度の修学旅行は、3泊4日で広島・関西方面を予定しています。班別行動でUSJに行く班もあるそうです。

5 遠足はありますか。

1年で八景島シーパラダイス、3年でディズニーランドに行きます。

6 服装・頭髪指導はありますか。

2か月に1回程度行われています。昨年度から頭髪について、ツーブロックや女子の結び方について緩和されました。

7 授業料など、主な経費はいくらぐらいですか。

授業料については、「高等学校等就学支援金受給資格」の認定を受けた方は無償となります。その他、諸経費や教材費など科目の選択にもよりますが、年額で10万円程かかります。また、修学旅行の積立金が約10万円になります。

【公営塾について】

1 公営塾とは何ですか。

高校内で開講している、茂木町が運営する公設塾です。「勉強も青春もゆずも塾」を標語に、自分を知り自分だけの「青春」を見つける探究学習と、大学入試や公務員試験を突破する教科学習の支援をしています。

2 具体的には、塾ではどのような支援が受けられますか。

自学自習をベースとした放課後学習の場として、教室を運営しています。分からない問題を目の前のスタッフに質問でき、希望者は共通テスト対策など大学入試対策講座を受講できます。加えて、イルミネーションで茂木の夜を明るく照らす「茂木灯りの散歩道」など、地域活動の中で高校生活を楽しみながら「自分になりたい将来像」を模索できます。

3 塾の利用料（入塾料・授業料・講座受講料など）はいくらですか。

無料です。茂木高校に通う方であれば、どなたでも自由にご利用いただけます。塾は平日放課後から 20:30 まで開放していて、皆さんは都合に合わせて、自由に出入りできます。講座を実施する場合は、参加する生徒と相談し実施日時を決めます。

4 どのような生徒が塾を利用していますか。

2024 年 7 月現在、約 210 人の生徒が在籍しています。部活終わりに来塾し学習習慣の定着を図る生徒、地域活動の中で自分の可能性を広げる生徒、検定試験や大学入試に向けて黙々と学習に取り組む生徒など、利用の仕方も様々です。

5 塾を運営するスタッフはどのような人達ですか

茂木町が全国から募集し、地域おこし協力隊として町に採用された若手職員です。「第三の大人」として、皆さんの学校内外の悩みに寄り添います。詳しくは、茂木町公営塾のホームページをご覧ください。